

ALPHA

PAL8045 Installation Guide

Last revised : Dec. 2002

X001ZF0T-02

Model PAL8045

For Athlon, Duron, Athlon XP, Athlon MP

PAL8045 はCPUソケット横の4箇所穴を使用してヒートシンクを取付けます。MBによっては表面実装のパーツと干渉する場合があります。

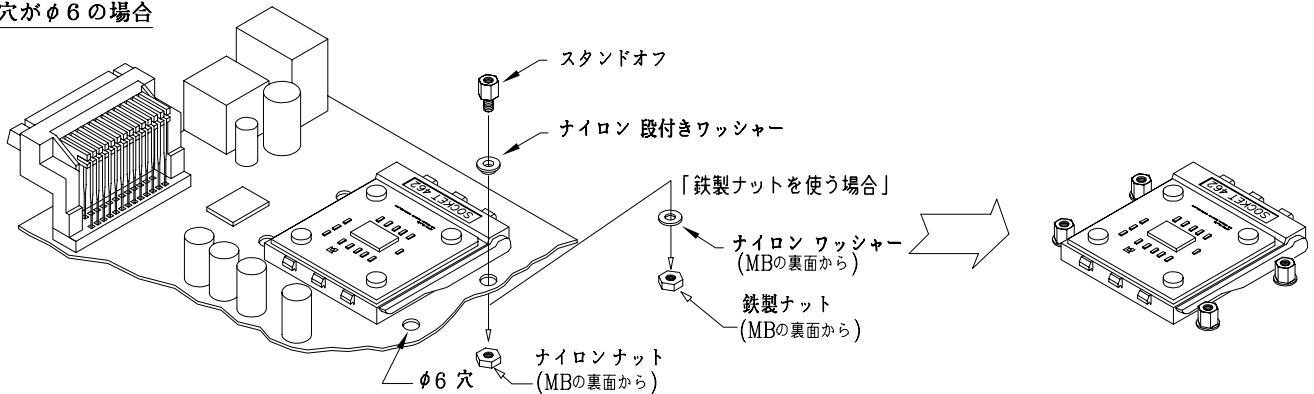
梱包の中に次の物が同梱されているか、ご確認ください。

PARTS	QTY	MODEL	
		PAL8045 T	PAL8045 U
ヒートシンク	1	○	○
インテークカバー	1	○	○
ネジ, M3 x 50 (ファン取付用)	4	○	○
ワッシャー (ファン取付用)	4	○	○
ネジ, 6-32UNC x 38.1	4	○	○
スプリング, OD 6 x 25.4	4	○	○
ナイロンワッシャー	20	○	○
ナイロン段付きワッシャー	4	○	○
スタンドオフ	4	○	○
ナイロンナット (白色)	4	○	○
ファン (80mm角 x 25, 4ファン)	1		○
サーマルグリス YG6260-5	1		○
鉄製ナット (銀色)	4	○	○

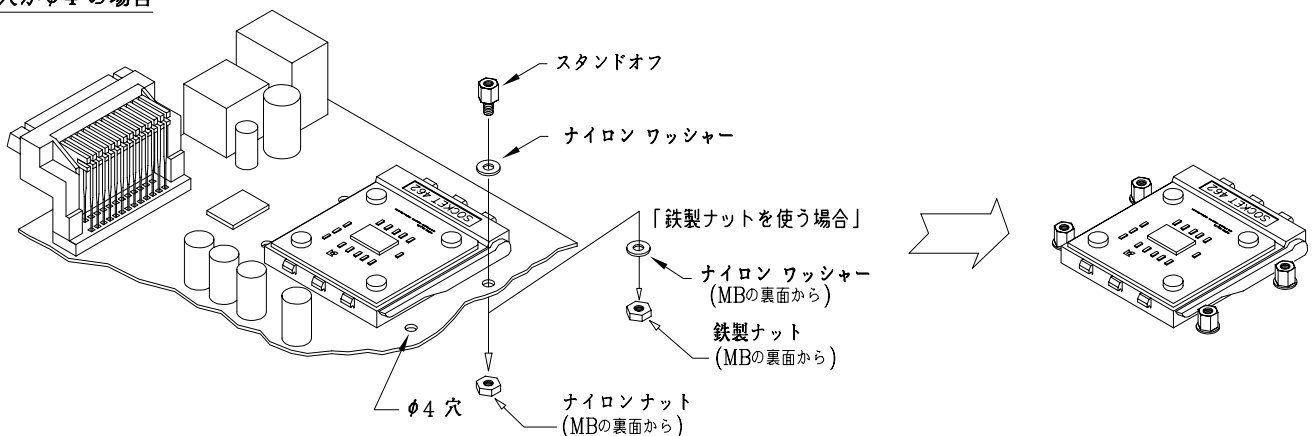
STEP 1 PAL8045を取付ける前に、マザーボード (MB) をケースから取り外します。

STEP 2 始めに使用するワッシャーのタイプを決定します。もし使用するMBの穴がφ6の場合、ナイロン段付きワッシャーを使用します。ナイロン段付きワッシャーの小径部分がMBの穴に適合します。穴が小さなタイプ (φ4) のMBの場合は、平らなナイロンワッシャーを使用します。ナイロン段付きワッシャーを穴が小さいタイプのMBには絶対に使用しないで下さい。使用するとヒートシンクが適切に取り付けられません。ワッシャーが決まったら、スタンドオフのネジ部分をナイロンワッシャーに通しMBの穴にセットします。次に、MBの裏穴付近に接触する部品が無い事を確認の上、鉄製ナットで締めます。この時、必ずナイロンワッシャーを挟んで絶縁をして下さい。又、MBによっては、鉄製ナットがMB上の部品に接触し、ショートや破損をする恐れのあるものがあります。このような場合、鉄製ナットの使用は避け、ナイロンナットだけで固定して下さい (下図参照)。どちらの方法でも、固定される時は、ネジの締め過ぎに充分注意してください。

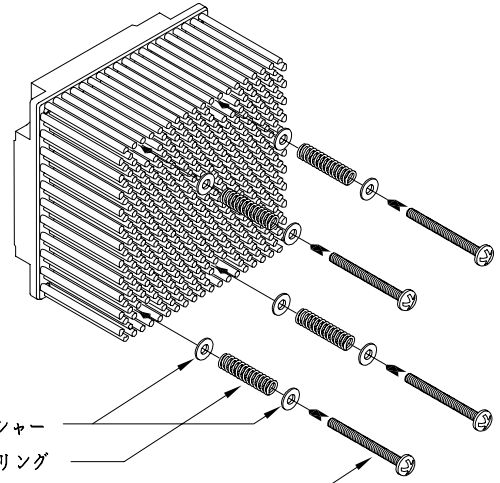
MBの穴がφ6の場合



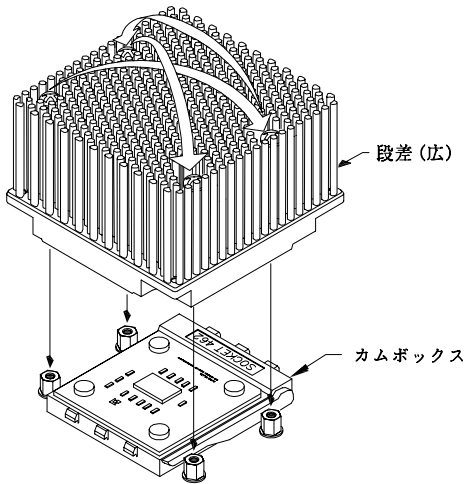
MBの穴がφ4の場合



STEP 3 ネジ 6-32 UNC にナイロンワッシャー、スプリング、ナイロンワッシャーの順でセットしヒートシンクの 4 箇所 の穴 にセット します。図 の 様 にヒートシンクを横 にするとセットが簡単です。



ナイロン ワッシャー
スプリング
ネジ, 6-32 UNC x 38.1

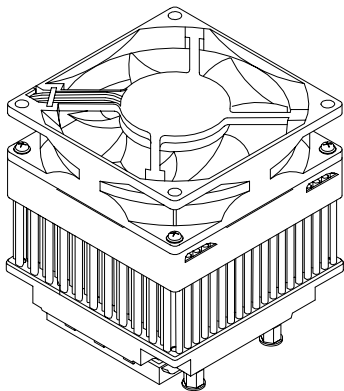
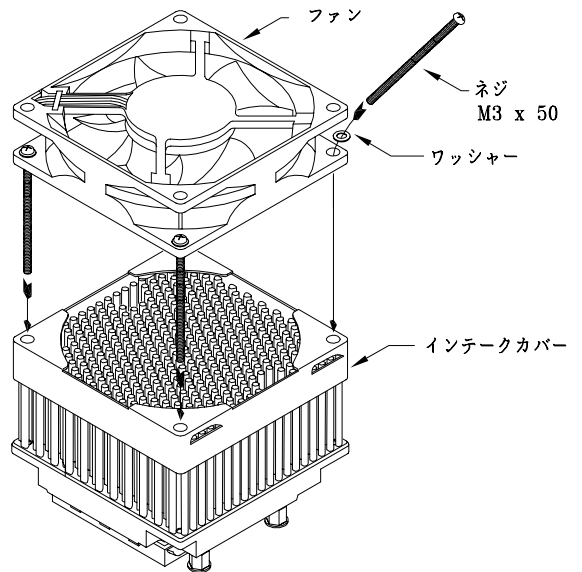


STEP 4

コア 上 面 にサーマルグリスを塗布して下さい。次にスプリングのネジがスタンドオフ上にくる様ヒートシンクをセットします。この時 CPU コア にヒートシンクをぶつけない様注意して下さい。ヒートシンク裏面の広い段差がソケットのカムボックス側になります。ネジは一つのネジだけ一度に締めないで、図の様に対角のネジと交互に(十字を何回か繰り返す様に)締め付けて下さい。ネジがスタンドオフの底に届いたら、ネジ締めは完了です。ネジの締めすぎに注意して下さい。

CPU、ソケット、マザーボード及び取り付け金具の寸法許容差に依り、場合に依っては組付け力が弱くなる可能性があります。これは、ヒートシンクの性能に影響します。もしスプリングの力が弱いと思われる場合には、STEP 3 に戻り、各々のネジにナイロンワッシャーを 1 枚追加して下さい。

STEP 5 インテークカバーの白いシートは加工時の傷防止用のシートですので組付け前に取除いてください。インテークカバーをヒートシンクの上に被せます。(カバー内側のストッパー部分がヒートシンクのピン上部に引掛かり、ヒートシンクとインテークカバーには 5 mm の隙間が出来ます。) 右図の様にネジ M3 0 x 5 0 をファンの穴に通します。インテークカバーの穴にネジを通しファンを載せ、ヒートシンクベースのネジ穴で固定します。この時もSTEP 4 と同様に交互にネジを締めて下さい。



STEP 6

最後にファンケーブルをマザーボードのファン用コネクタに取付けます。これでPAL 8 0 4 5 の取り付けが完了しました。ヒートシンクがCPUと傾くことなく設置されているか(ソケットのカムボックスやレバー及び他のコンポーネント等に接触せず、CPUだけに正しく接触していることを)目視で確認して下さい。MBをケースに組み付けます。ケースや他のコンポーネント等にヒートシンクが干渉していないか最終確認を行って下さい。

information subject to change without notice.